

## ●第4章 計画の推進体制

本計画の推進には、行政、観光関連団体、観光関連事業者、そして市民の間で適切に役割分担を行い、相互の連携を密にしていくことが必要です。

また、効果的な連携を図る為に、DMO（下記（2）参照）の取り組みを通して官民連携し、地域に密着した観光振興に取り組みます。

### （1）役割分担

#### ア 行政の役割

行政は観光に関する長期的な計画を作成し、市民や観光関連団体及び観光関連事業者との連携を図りながら、計画に基づく観光振興施策を推進するとともに、各主体が自主的に取り組む観光振興事業への支援に取り組みます。

さらに国や県及び市町村との連絡調整を行いながら、情報の収集分析に努め、観光をめぐる社会状況の動向に適切に対応できるよう図ります。

#### イ 観光関連団体の役割

一般社団法人山形市観光協会をはじめとした市内各観光協会、一般財団法人山形コンベンションビューロー等の観光関連団体は、行政や市民及び観光関連事業者との連携を密にしながらか観光振興を推進します。

また、必要に応じて組織を再編するなど、事業推進体制の効率化を図ります。

#### ウ 観光関連事業者の役割

旅行・交通・宿泊・飲食等の観光関連事業者は、本市の観光の担い手として、各々の業務のスキルアップに取り組み、観光地域づくりに寄与します。

また、国内外の観光客の受入を通して、山形の魅力の向上及び発信に努めます。

#### エ 市民の役割

市民は、市外から訪れた方に対し、「一人ひとりが山形市の観光大使」としておもてなしの心で接することができるよう心がけるとともに、祭り・イベントの企画・運営への積極的な参加や、個人 SNS 等による情報発信により、観光振興の担い手となります。

### （2）山形版 DMO の取り組み

#### ア 日本版 DMO について

DMO とは、Destination Management/Marketing Organization の略語で、国が定める日本版 DMO とは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人のことを言います。

#### イ 山形版 DMO について

本市では、行政や観光関連団体等から組織される「山形・上山・天童三市連携観光地域づくり推進協議会」と民間出資による DMC（Destination Management

(Marketing Company)「おもてなし山形株式会社」が、「山形版 DMO 推進と観光地域づくりに向けた連携協力に関する協定書」を締結し（平成 29 年 4 月 26 日締結）、山形版 DMO として、地域内における合意形成や戦略策定、マーケティング、プロモーション等を協働で実施することとしています。

「おもてなし山形株式会社」は、山形版 DMO が策定した戦略に基づき、施設管理、免税店、物販等を行う地域商社事業、着地型旅行商品の企画・造成・販売を行う旅行業など、地域に根ざした公益性のある営利事業に取り組みます。

#### ウ 山形版 DMO の役割

本計画の推進において、山形版 DMO は行政、観光関連団体、民間事業者等を繋いで、地域との合意形成や本計画に基づく戦略策定及び実施を担うことで、観光地域づくりを推進します。

以上のように、行政と民間が協働する体制を構築し、適切に進行管理を行いながら、本計画を推進していきます。

また、推進にあたっては、短期、中期、長期と各施策の進行状況を検証しながら進めていくこととし、特に今後、社会情勢の急激な変化も予想されるため適宜内容の見直しを図りながら進めていくこととします。

【参考：山形版 DMO の概要図】

